

報道機関各位

**「地域医療を担う医師の確保を目指す知事の会」令和3年度提言決議
の開催について**

全国的な医師の不足と地域遍在の根本的な解消を目指し、令和2年1月31日に、医師不足県の知事で連携し、「地域医療を担う医師の確保を目指す知事の会」が設立され、山形県知事も趣旨に賛同したところです。

本会では、全国の医療関係者や行政関係者への理解促進、国民の機運醸成などを図りながら、国に対して実効性のある医師不足・偏在対策の実施について働きかけを行っております。

今般、構成県の知事等の参加により、令和3年度の提言決議をweb会議により開催しますので、当日の取材について特段の御配慮をお願いします。

記

1 日時 令和3年6月9日(水) 11:00～11:45

2 場所 web会議（山形県庁5階502会議室）

3 次第

- (1) 開会
- (2) 会長及び副会長の選任について
- (3) 議事
 - ア 令和2年度活動報告について
 - イ 令和3年度提言決議について
 - ウ 今後の進め方について
- (4) 閉会

【知事の会構成県】

青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、長野県、静岡県、宮崎県

○問合せ先

健康福祉部医療政策課地域医療支援室

室長補佐 石井 克明

電話 023-630-2256

【報道監】 健康福祉部次長 大場

「地域医療を担う医師の確保を目指す知事の会」設立趣意書

医療は、国民の生活に欠くべからざるものであり、誰もが地域で必要な医療を受けられるとともに、地域の医療従事者が働きがいのある医療環境を作っていく必要があるが、今日、我が国の地域医療の現場では医師の絶対数の不足や地域間・診療科間の偏在等が極めて顕著となり、いわば「地域医療崩壊」の危機的状況にある。

こうした危機的状況を打開するため、都道府県は、奨学金事業やキャリア形成支援など医師の確保・養成の取組を進めてきた。また、急速に進む少子化や高齢化に伴う医療需要の変化に対応するため、地域医療構想を策定し、各地域で関係者による協議を行いながら、病床機能の分化・連携による効率的で質の高い医療提供体制の構築に向けた施策を推進している。

今般、住民の人口構成や医師の年齢分布などの要素を考慮した新たな「医師偏在指標」が示され、改めて医師の地域間偏在、都道府県間偏在が明らかにされた。今後、都道府県は、医師確保の方針、目標医師数や目標の達成に向けた施策を含む「医師確保計画」を策定し、引き続き医師の不足及び偏在対策に取り組んでいくこととなるが、都道府県を中心とした取組には限界があると考える。

医師の不足や地域間の偏在を根本的に解消し、住民がその居住する地域で、必要なときに適切な医療を受けられる体制を構築するためには、国全体で地域医療を守る仕組み、そして、地域医療に携わることで医師が成長し、研鑽を積むことにも繋がる仕組みが必要であり、国を挙げて実効性のある施策に取り組むことについて、医師不足県が連携し、情報発信や国への政策提言等に取り組めるよう、「地域医療を担う医師の確保を目指す知事の会」を設立する。

令和2年1月31日

設立発起人

青森県知事	三村申吾
岩手県知事	達増拓也
福島県知事	内堀雅雄
新潟県知事	花角英世
長野県知事	阿部守一
静岡県知事	川勝平太